

【竹馬げきむずコースを作ろう！】2、3年保育5歳児 7月

竹馬の遊びが大好きになった子供たち！「今日も、げきむずコースを作ろう！」と、身近な用具を使って自分たちでいろいろな竹馬コースを作って遊ぶことが楽しくなっています。このような竹馬の遊びの中で、子供たちのいろいろな学びが見られました。今回は幼児教育において育みたい「資質・能力の3つの柱」を手掛かりに、子供たちの学びの姿を捉えてみました。



たくさん並べたら難しくて楽しそう！

ここから間を狭くしたらもっと難しくなるんじゃない？

それいいね！マットの上にもしたら歩きにくいよね



竹馬は小さく動かしたほうがいいね

難しい！でも、クリアしたい！

Aちゃん、頑張れ！

教師の思い・願い

- ・友達と「げきむずコース」のイメージを広げ、刺激し合いながら、繰り返し竹馬で遊ぶことを楽しんでほしいと思います。
- ・目的に向かって繰り返し取り組む中で、自信をつけたり、達成感を味わったりしてほしいと思い、一人一人の頑張る姿を支えています。
- ・友達と試行錯誤しながら自分たちで遊びを進めてほしいと思い、幼児同士のやりとりを見守っています。



私もやってみよう！

失敗しても、もう1回頑張るよ！

やった！ここまで行けた！

今度はどんなげきむずコースにしようかな？

知識や技能の基礎
 (遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか)

- ・竹馬を細かく操作したり、物を跨いだりする力や、マットの上でも竹馬でしっかりと踏ん張れるバランス能力の獲得
- ・物を不規則な間隔で並べると、竹馬コースの難易度が上がることの発見
- ・ポールや用具やハードル、マットの活用の仕方の発見
- ・様々な気付き、発見の喜び

思考力・判断力・表現力等の基礎
 (遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)

- ・「こうしたら難しくなるだろう」と予測し、自分で挑戦したり、友達が挑戦する様子を見たりして、コースを作り変えながら遊ぶことを楽しむ
- ・友達と「げきむずコース」のイメージを共有しながら、考えを出し合ってより難しいコースを作ろうとする
- ・自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝えながら、考えたことを実現しようとする

- ・難しいコースに挑戦したいと思い、自分からやってみようとする
- ・うまくいかなくても、友達と一緒に共通の目的に向かって諦めずに繰り返し挑戦する
- ・頑張る友達の姿に気付き、応援したり、コツを伝え合ったりする
- ・「できた」という達成感を味わったり、自分に自信をもったりし、もっと難しいコースに挑戦したい、コースを作りたいという意欲をもつ

学びに向かう力、人間性等
 (心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか)